

宮崎県感染症週報

■ 宮崎県第24週の発生動向

定点医療機関からの報告総数は1,043人(定点あたり29.9)で、前週比95%とほぼ横ばいであった。

前週に比べ増加した主な疾患はヘルパンギーナと咽頭結膜熱で、減少した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎と水痘であった。

ヘルパンギーナの報告数は83人(2.3)で前週比141%と増加したが、例年同時期の定点あたり平均値(3.5)の約7割であった。日向(6.5)保健所からの報告が多く、警報レベルを超えている。年齢別では6ヶ月から2歳で全体の約8

割を占めた。

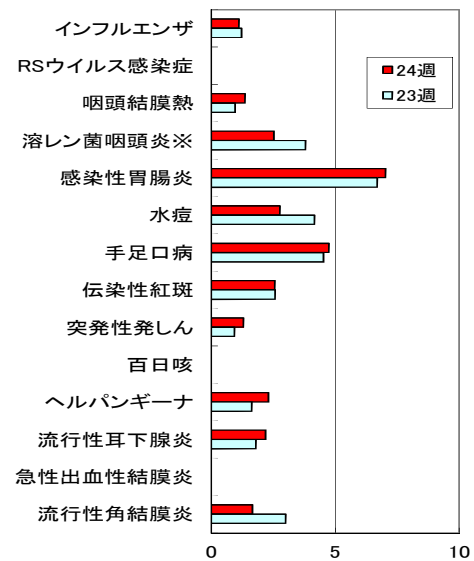
咽頭結膜熱の報告数は49人(1.4)で前週比140%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値(0.76)の約1.8倍と多い。延岡(4.3)保健所からの報告が多く、警報レベルを超えている。年齢別では1歳から5歳で全体の約8割を占めた。

無菌性髄膜炎2人が日南・高鍋(各1人)保健所から報告された。1歳の男児と80歳の男性であった。

□ 保健所別流行警報開始基準値超過疾患

保健所名	流行警報開始基準値超過疾患
宮崎市	伝染性紅斑(2.4)
都城	なし
延岡	咽頭結膜熱(4.3)、手足口病(14.3)、伝染性紅斑(4.5)
日南	伝染性紅斑(6.0)
小林	なし
高鍋	伝染性紅斑(3.0)
高千穂	伝染性紅斑(2.0)
日向	手足口病(9.3)、ヘルパンギーナ(6.5)
中央	手足口病(7.0)

《前週との比較》



《定点あたり報告数》
※A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

□ 疾患別流行警報開始基準値超過疾患

	流行警報開始基準値	定点あたり報告数		年齢分布
		宮崎県全体	基準値を超えた保健所	
咽頭結膜熱	3	1.4	延岡(4.3)	1歳~5歳で全体の約8割を占めた。
手足口病	5	4.8	延岡(14.3)、日向(9.3)、中央(7.0)	1歳~3歳で全体の約8割を占めた。
伝染性紅斑	2	2.6	日南(6.0)、延岡(4.5)、高鍋(3.0)、宮崎市(2.4)、高千穂(2.0)	4歳~8歳で全体の約7割を占めた。
ヘルパンギーナ	6	2.3	日向(6.5)	6ヶ月~2歳で全体の約8割を占めた。

■ 全数把握対象疾患

- 1 類感染症 : 報告なし。
- 2 類感染症 : 結核 6 例が宮崎市 (4 例)、都城・高鍋 (各 1 例) 保健所から報告された。
 《宮崎市保健所》・60 歳代の女性で無症状病原体保有者。
 ・50 歳代の女性で頸部リンパ節結核。頸部腫脹がみられた。
 ・60 歳代の男性で無症状病原体保有者。
 ・70 歳代の女性で肺結核。咳、発熱がみられた。
 《都城保健所》・80 歳代の女性で肺結核。発熱がみられた。
 《高鍋保健所》・70 歳代の女性で肺結核。咳、痰がみられた。
- 3 類感染症 : 報告なし。
- 4 類感染症 : 報告なし。
- 5 類感染症 : 報告なし。

■ 病原体情報 (衛生環境研究所 微生物部)

□ ウイルス (平成 23 年 6 月 7 日～平成 23 年 6 月 20 日までに検出)

同定ウイルス名	年齢	性別	採取日	臨床症状	材料	検出日
アデノウイルス 2 型	2	男	5.8	アデノウイルス咽頭炎 発熱、上気道炎(咽頭炎、扁桃炎)好中球減少、血小板減少	咽頭ぬぐい液	6.20
コクサッキーウイルス B1 型	23day	男	5.19	無菌性髄膜炎、38.0℃、 下気道炎、無呼吸発作、 循環器障害、心肺低下	咽頭ぬぐい液 /髄液	6.13/6.20

○アデノウイルス咽頭炎の小児からアデノウイルス 2 型が分離された。アデノウイルス 2 型は、本県ではほぼ毎年検出されており、ライノウイルス等とともに、「かぜ症候群」を起こす主要病原ウイルスの一つと考えられている。

○無菌性髄膜炎の新生児の髄液及び咽頭ぬぐい液からコクサッキーウイルス B1 型が分離された。コクサッキーウイルス B1 型は、無菌性髄膜炎、心筋炎、手足口病などの原因となることが知られている。

□ 細菌 (平成 23 年 6 月 7 日～平成 23 年 6 月 20 日までに検出)

同定細菌名	年齢(歳)	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	検出日
腸管出血性大腸菌(O121:HUT VT2)	60代後半	女	2011.5.9	腹痛、血便	便	2011.5.19
腸管出血性大腸菌(O121:HUT VT2)	5～9	男	2011.5.27	下痢	便	2011.6.9
Salmonella Thompson(O7:k:1,5)	0～4	男	2011.6.2		便	2011.6.10
Salmonella Tyhimurium (O4:i:1,2)	0～4	男	2011.6.8		便	2011.6.13
腸管出血性大腸菌(O157:H7 VT1,2)	20代前半	女	2011.6.8	無症状	便	2011.6.15

○ 血便を呈した 60 代の女性と下痢を呈した幼児から、血清型 O121 の EHEC が分離された。O121 の多くは毒性の強い VT2 を産生するので、症状の重篤化に注意する必要がある。

○ 無症状の 20 歳代女性から血清型 O157 の EHEC が検出された。

■ 全国第 23 週の発生動向

定点医療機関あたりの患者報告総数は 17.9 で、前週比 106%と増加した。今週増加した主な疾患はヘルパンギーナと手足口病で、減少した主な疾患はインフルエンザと流行性耳下腺炎であった。

ヘルパンギーナの報告数は 1,762 人 (0.56) で、前週比 156%と増加した。鹿児島県 (4.1)、香川県 (2.4)、徳島県 (2.1) からの報告が多く、年齢別では 1 歳から 4 歳で全体の約 8 割を占めた。

手足口病の報告数は 5,275 人 (1.7) で、前週比 153%と増加した。香川県 (8.1)、島根県 (7.8)、岡山県 (7.3) からの報告が多く、年齢別では 1 歳から 3 歳で全体の約 7 割を占めた。

□ 全数把握対象疾患

1 類感染症 : 報告なし。

2 類感染症 : 結核 362 例

3 類感染症 : 細菌性赤痢 3 例、腸管出血性大腸菌感染症 101 例、腸チフス 1 例

4 類感染症 : E 型肝炎 1 例、つつが虫病 10 例、日本紅斑熱 5 例、マラリア 2 例、レジオネラ症 11 例

5 類感染症 : アメーバ赤痢 5 例、ウイルス性肝炎 7 例、急性脳炎 2 例、クロイツフェルト・ヤコブ病 3 例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症 3 例、後天性免疫不全症候群 12 例、ジアルジア症 1 例、髄膜炎菌性髄膜炎 1 例、梅毒 20 例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1 例、風疹 12 例、麻しん 15 例

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2011年 第24週(06月13日～06月19日)

疾病名		第23週	第24週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	72	66	2	50	5		3			3	3
	定点あたり	1.22	1.12	0.13	5.00	0.71	0.00	0.60	0.00	0.00	0.50	1.50
RSウイルス 感染症	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	35	49		11	17	7	5	5		4	
	定点あたり	0.97	1.36	0.00	1.83	4.25	2.33	1.67	1.25	0.00	1.00	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	137	91	35	10	21	4	1	10	4	5	1
	定点あたり	3.81	2.53	3.50	1.67	5.25	1.33	0.33	2.50	4.00	1.25	1.00
感染性胃腸炎	報告数	241	253	61	60	26	6	40	15	3	35	7
	定点あたり	6.69	7.03	6.10	10.00	6.50	2.00	13.33	3.75	3.00	8.75	7.00
水痘	報告数	150	100	37	12	22	5	10	6		8	
	定点あたり	4.17	2.78	3.70	2.00	5.50	1.67	3.33	1.50	0.00	2.00	0.00
手足口病	報告数	163	171	41	13	57	7	3	6		37	7
	定点あたり	4.53	4.75	4.10	2.17	14.25	2.33	1.00	1.50	0.00	9.25	7.00
伝染性紅斑	報告数	93	92	24	11	18	18	1	12	2	6	
	定点あたり	2.58	2.56	2.40	1.83	4.50	6.00	0.33	3.00	2.00	1.50	0.00
突発性発しん	報告数	34	47	16	8	10	2		6		4	1
	定点あたり	0.94	1.31	1.60	1.33	2.50	0.67	0.00	1.50	0.00	1.00	1.00
百日咳	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	59	83	7	26	5	10	1	8		26	
	定点あたり	1.64	2.31	0.70	4.33	1.25	3.33	0.33	2.00	0.00	6.50	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	65	79	49	6	9	7		4	2	1	1
	定点あたり	1.81	2.19	4.90	1.00	2.25	2.33	0.00	1.00	2.00	0.25	1.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	18	10	6	1	3						
	定点あたり	3.00	1.67	2.00	0.50	3.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数		2					1	1			
	定点あたり	0.00	0.29	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00	1.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点当り報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2011年第1週～24週)

2類感染症	結核	133例(6)			
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	18例			
4類感染症	A型肝炎	1例	チクングニア熱	1例	つつが虫病
	日本紅斑熱	1例			
5類感染症	アメーバ赤痢	7例	ウイルス性肝炎	1例	急性脳炎
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1例	髄膜炎菌性髄膜炎	2例	後天性免疫不全症候群
	梅毒	5例	破傷風	5例	風しん
	麻疹	1例			

●動物感染症累積報告数(2011年1週～24週)(参考)

指定感染症	鳥インフルエンザ(H5N1)の鳥類	20例
-------	-------------------	-----

()内は今週届出分、再掲